

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次実施計画との関連		有・無
<input type="checkbox"/> 有		
<input checked="" type="checkbox"/> 無		

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	ウォーキングの推進事業(主要事業)							
1-2 担当	部	健康福祉部	課 又は施設	健康課	係	健康推進係	評価票作成者	成人保健担当係長 岡田恵子
1-3 総合計画における施策の体系	節	保健福祉 「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり」			基本施策	成人・老人保健	コード	2 1 1
	項	健康			単位施策(中)	生活習慣病予防対策の充実	コード	2 1 1 1
					単位施策(小)	運動による健康づくりの推進	コード	2 1 1 1 3
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	一般市民		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	健康アクションプラン2でも重点項目となっている運動習慣、特にウォーキングを生活習慣として取り入れて市民が健康であることが自覚できる			
1-5 事務事業の内容	ウォーキングマップを市民参画で作成し、市民へ配布。またマップを媒体として気軽にウォーキングや散歩ができるように、健康づくり市民ウォーキングを月に1回、ウォーキング推進グループが(ウォーキングマップ作成に係った市民がそのままグループ化される)主導的に実施							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	ウォーキングマップを作成し、ウォーキングに関心が高まる1つの媒体として利用。市民協働事業としての位置づけが定着し、事業拡大につながっている。	ウォーキングに関するイベント、催し物は行政、民間とも行われている。健康をベースとした運動推進の1つとしてウォーキングを勧めていく。さらに関連する課(例:体育課)との連携もすすめる。		対象者が参加しやすい条件を考慮しウォーキングへの関心が高まる情報提供も併せて実施していく。	
	平成19年度					
	平成20年度					
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	散歩・ウォーキングで体を動かす人の割合		35.0(%)	39.0(%)	健康のための、最も安全で効果的なウォーキング実行者の増加

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(人)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	480										
	直接事業費 b(千円)	241									
	人件費 c(千円)	389									
	合計コスト d(b+c)(千円)	630									
単位コスト d/a(千円)	ウォーキングの日参加者 当たり	1	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 【直接事業費】ウォーキングマップ作成費 168,000 市ホームページへマップを掲載電子データ処理代 73,500 小計241,500円 【人件費】ウォーキング開催の日とワークショップの日で24回の開催 人件費は779,620 ÷ 2 = 389,810円

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績 (%)										
	後期目標値に対する達成度 (%)										

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果 (アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A									

- 4段階評価結果
- |                                  |       |                                 |
|----------------------------------|-------|---------------------------------|
| A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する       | 判断の基準 | 必要性 (必要な事務事業であるか)               |
| B : 事務事業の実施手法や環境 (予算的・人的) に改善が必要 |       | 公共性 (公が実施する意味があるか)              |
| C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要           |       | 妥当性 (ニーズに対して投入が適正か)             |
| D : 事務事業の廃止が相当                   |       | 効率性 (結果に至る活動に無駄はないか)            |
|                                  |       | 有効性 (活動の結果が上位の目的に貢献しているか)       |
|                                  |       | 市民満足度 (事務事業が対象にしている市民を満足させているか) |

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度		ウォーキングする年齢層を中高年男性へ重点的に強化していく	課題を踏まえて職域や企業への働きかけを行う	ウォーキング推進グループの動きが予想以上に早く組織化され、協働事業を実施できる活動力となって事業成果へ結びついた
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度		A	継続して事業を進めること。
平成19年度			
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			